

電気通信サービスに係る内外価格差調査 —平成29年度調査結果（概要）—

平成30年9月
総務省

調査概要

東京などの6都市における、携帯電話（スマートフォン（MNO）、スマートフォン（MVNO）、フィーチャーフォン）、FTTH、固定電話の利用料金について比較調査を実施。

◇調査対象都市（各国の主要都市において比較）

東京、ニューヨーク、ロンドン、パリ、デュッセルドルフ、ソウル

◇調査対象事業者

各都市でシェアの高い事業者（スマートフォン（MNO）は上位3事業者、その他は最もシェアの高い事業者）

◇調査方法（公開情報、事業者ヒアリング等で確認）

①携帯電話（スマートフォン（MNO）、スマートフォン（MVNO）、フィーチャーフォン）
月当たりの利用形態から想定される利用モデルに基づき比較

②FTTH

回線使用料、宅内設備レンタル料、ISP料による比較

③固定電話

月当たりの利用形態から想定される利用モデルに基づき比較

◇調査時期

平成30年3月時点

◇通貨換算

OECDが公表する購買力平価（平成29年）を用いて比較

1. スマートフォン (MNO)

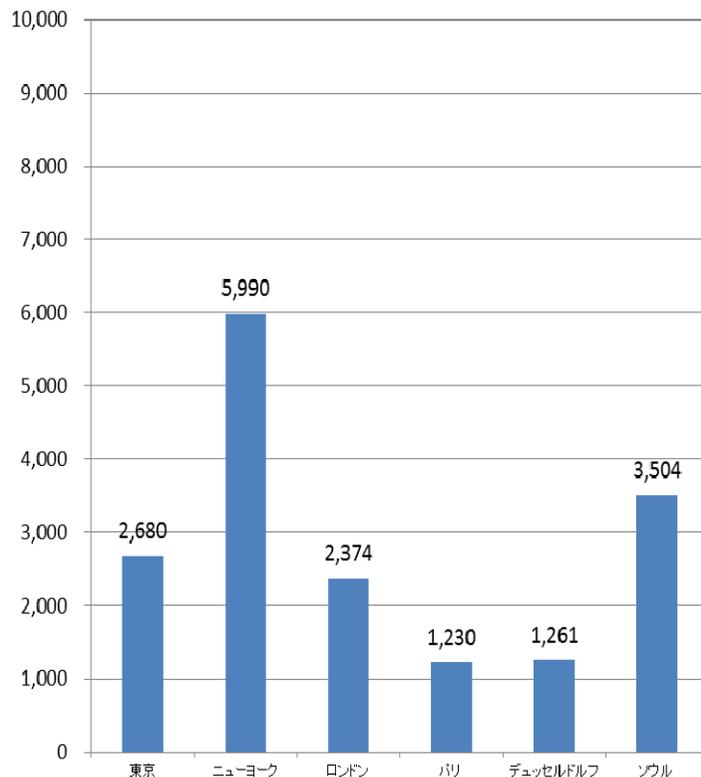
○ シェア上位3事業者（サブブランドを含む）が提供する料金プランのうち、最も安いポストペイド型の一般利用者向けのもの（新規契約の場合）について、通話時間・データ通信量等の利用モデル（※）に係る月々の支払額を比較。

（※）日本の利用実態を基にしたモデル（通話は月70分、メールは利用月155通、データ通信量は月2GB/月5GB/月20GB）で比較。

○ 東京の支払額は、2GB、5GBでは中位の水準、20GBでは高い水準となっている。

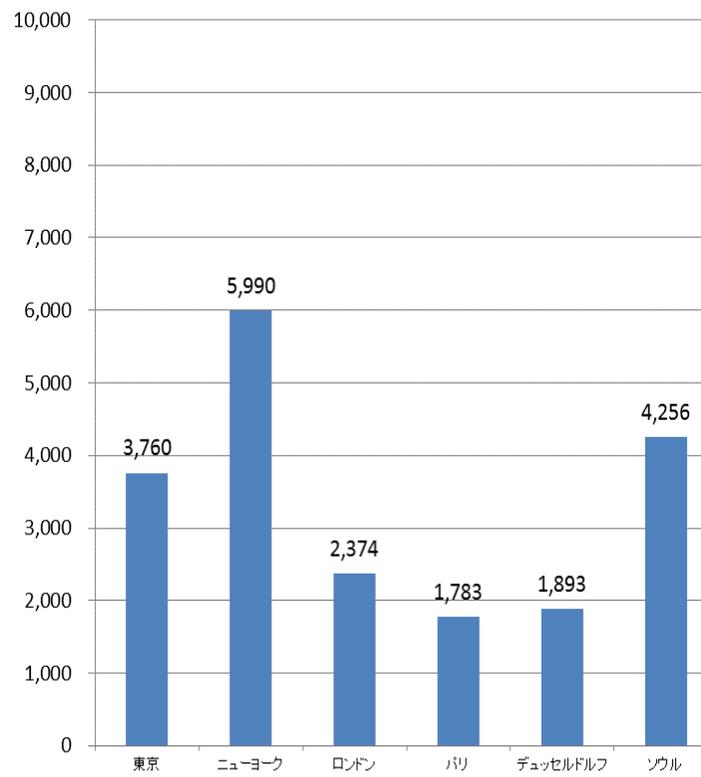
データ容量月2GB

(税込 単位：円)



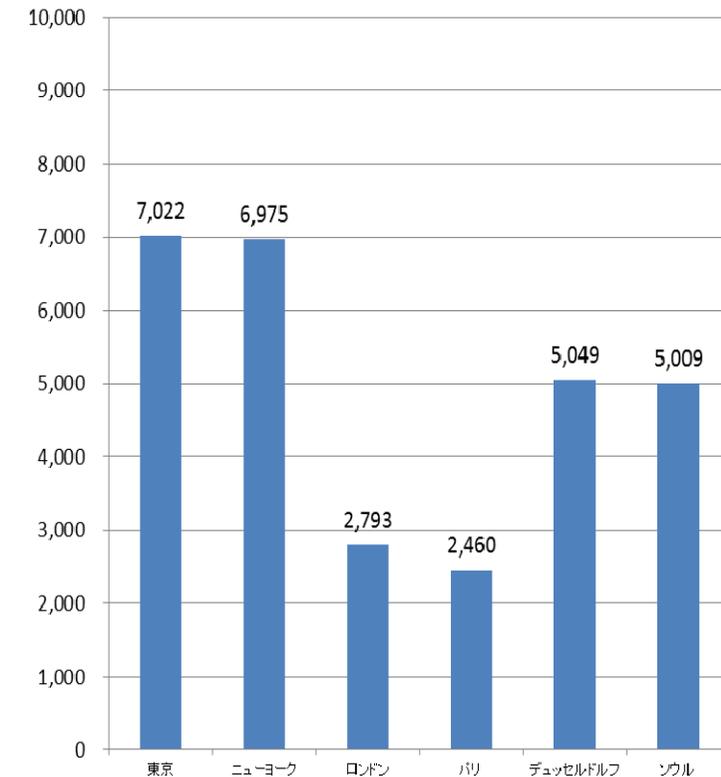
データ容量月5GB

(税込 単位：円)

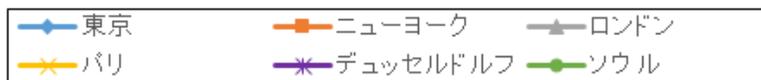


データ容量月20GB

(税込 単位：円)

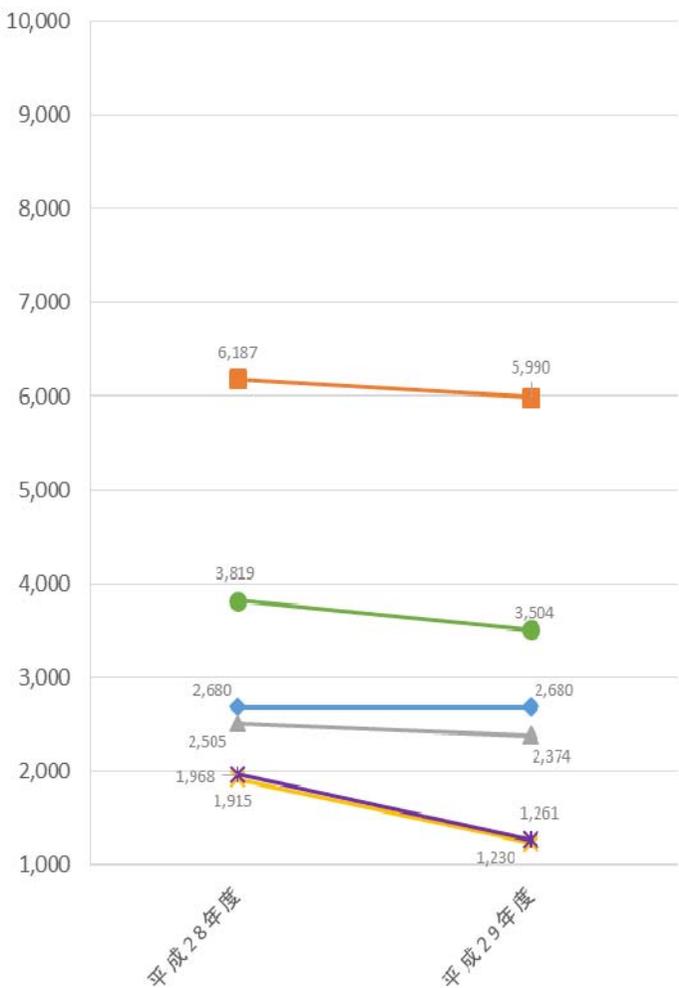


【参考1】スマートフォン（MNO）＜推移＞



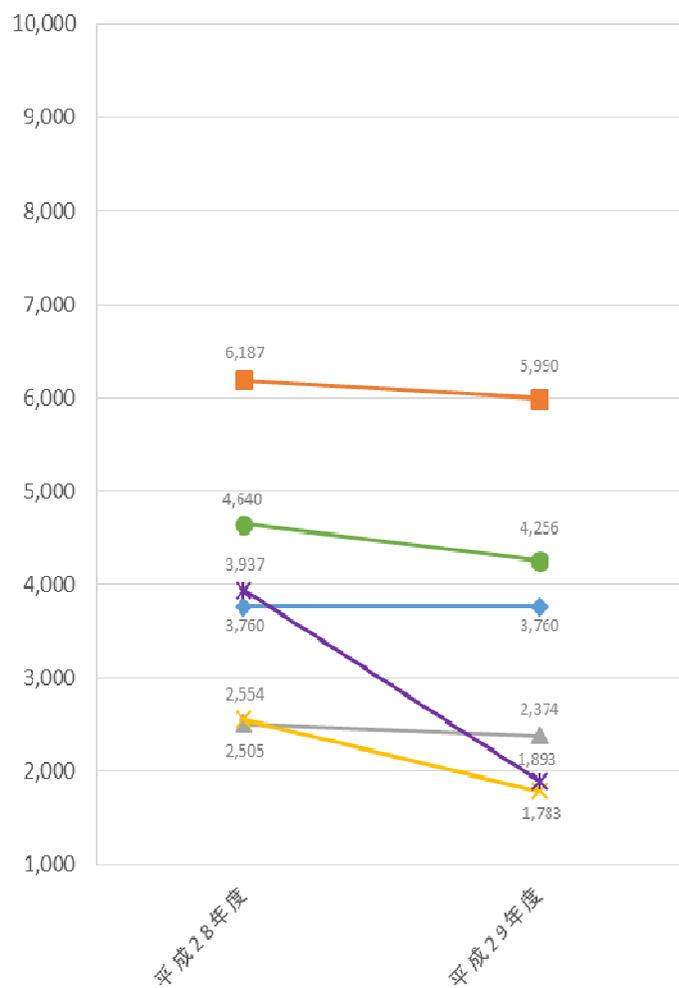
データ容量月2GB

(税込 単位：円)



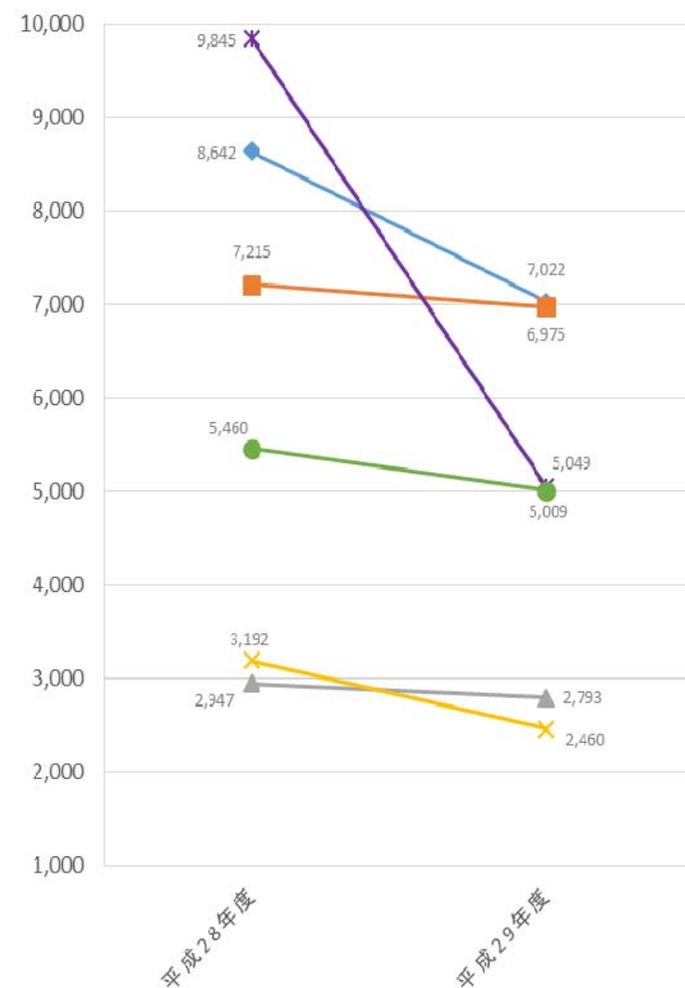
データ容量月5GB

(税込 単位：円)



データ容量月20GB

(税込 単位：円)



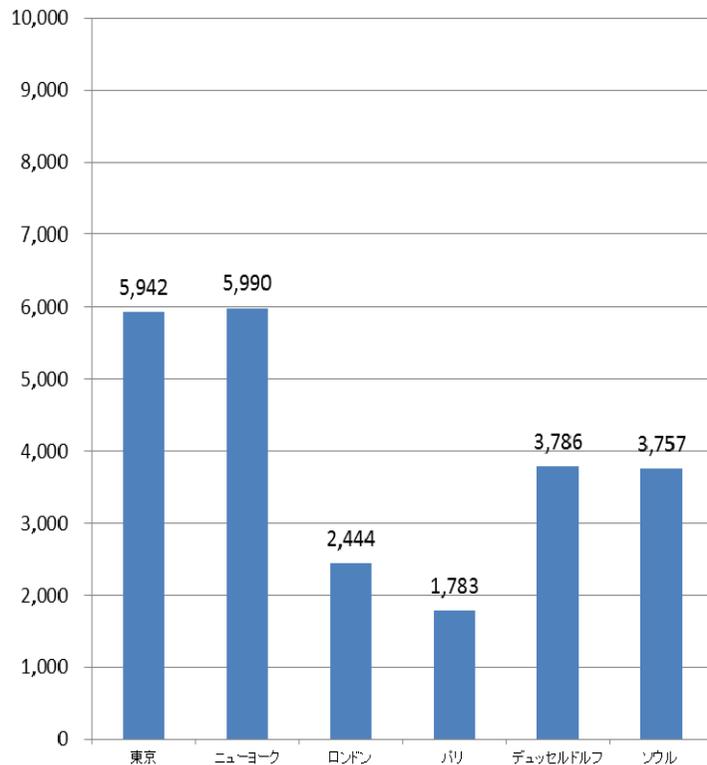
(注) 各年度において通貨換算に用いる購買力平価の値がそれぞれ異なる。

【参考2】スマートフォン（MNO：シェア1位の事業者）

- スマートフォン（MNO）について、各都市における最もユーザシェアの高い事業者（メインブランド）の料金プランで比較。
- 東京の支払額は、2GB、5GB及び20GBのいずれにおいても高い水準となっている。

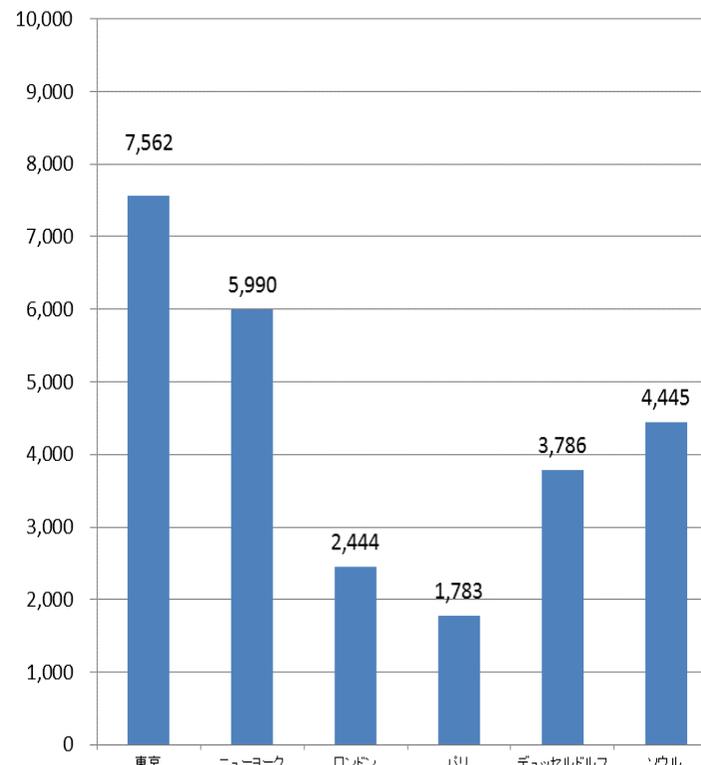
データ容量月2GB

(税込 単位：円)



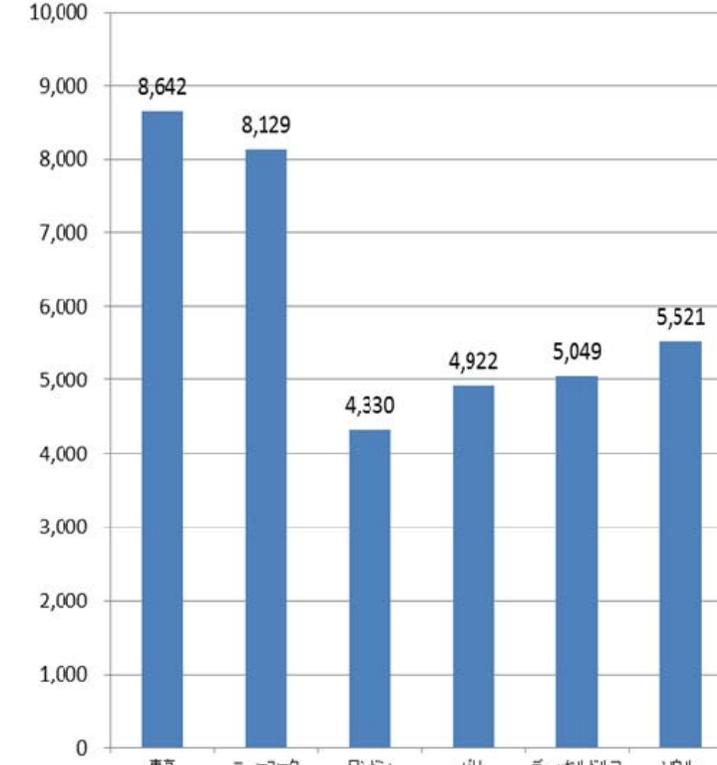
データ容量月5GB

(税込 単位：円)



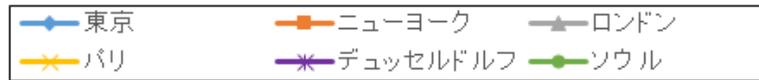
データ容量月20GB

(税込 単位：円)



(注) 東京は、長期利用した場合、グラフの金額から最大648円（データ容量月2GB・利用年数15年以上の場合）又は最大864円（データ容量月5GB又は20GB・利用年数15年以上の場合）の割引が適用される。

【参考3】スマートフォン（MNO：シェア1位の事業者）＜推移＞



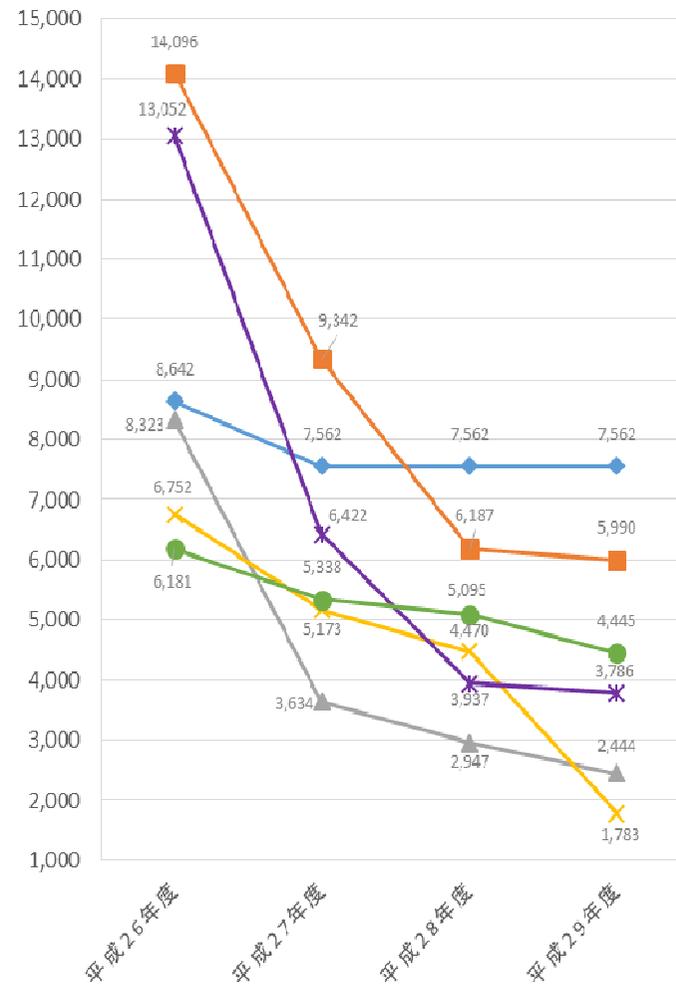
データ容量月2GB

(税込 単位：円)



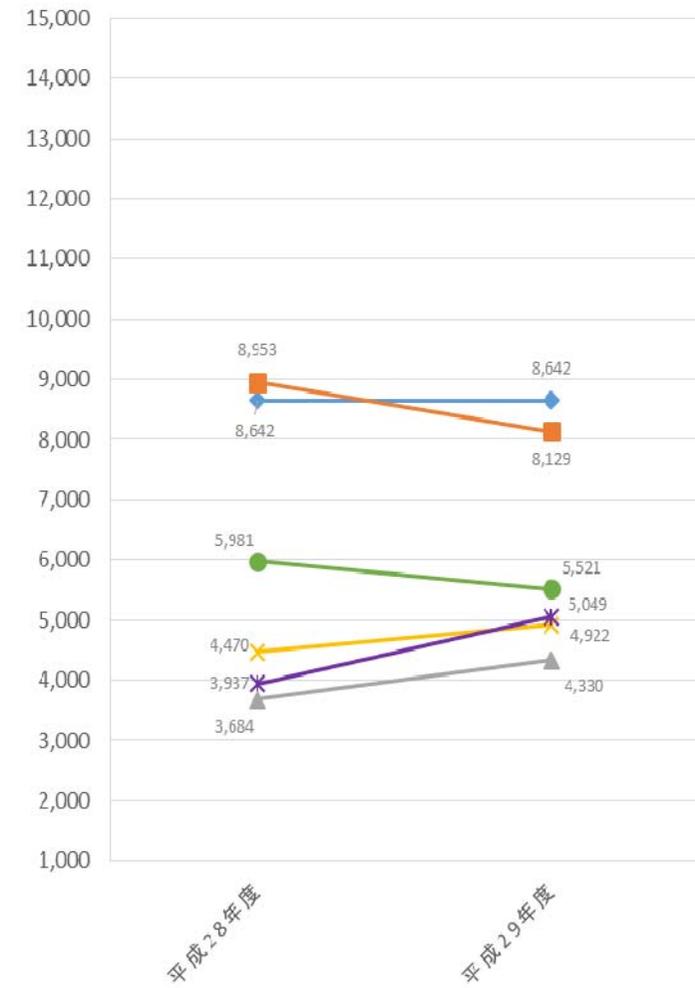
データ容量月5GB

(税込 単位：円)



データ容量月20GB

(税込 単位：円)



(注1) 各年度において通貨換算に用いる購買力平価の値がそれぞれ異なる。
 (注2) 各年度において設定しているモデルの音声通話の分数は異なる。
 (注3) 平成25年度において東京は音声通話料金従量制のプランとなっており、同年度の東京の支払額は同年度のモデルの音声通話の分数を使用したもの。
 (注4) データ容量月5GBは平成26年度から、データ容量月20GBは平成28年度から通信料金を調査している。
 (注5) 平成25年度及び平成26年度は各年12月現在の通信料金を調査している。
 (注6) 平成28年度においてデュッセルドルフではデータ容量月20GBプランを提供していなかったため、提供プランの中で最も容量が多い（15GB）プランで比較。

2. スマートフォン (MVNO)

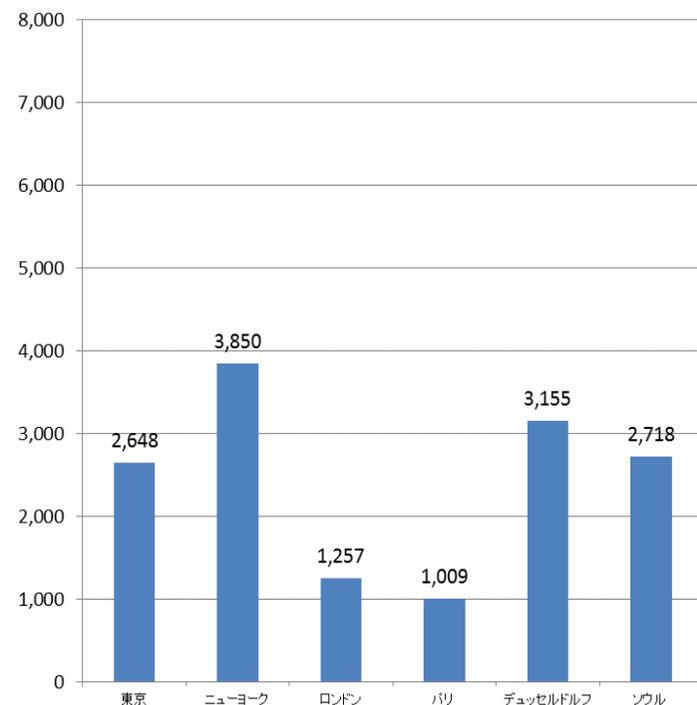
- **ポストペイド型の一般利用者向け通信料金（新規契約の場合）について、通話時間・データ通信量等の利用モデル（※）に係る月々の支払額を比較。**

（※）日本の利用実態を基にしたモデル（通話は月70分、メール利用は月155通、データ通信量は月2GB/月5GB/月20GB）で比較。

- **東京の支払額は、中位の水準となっている。**

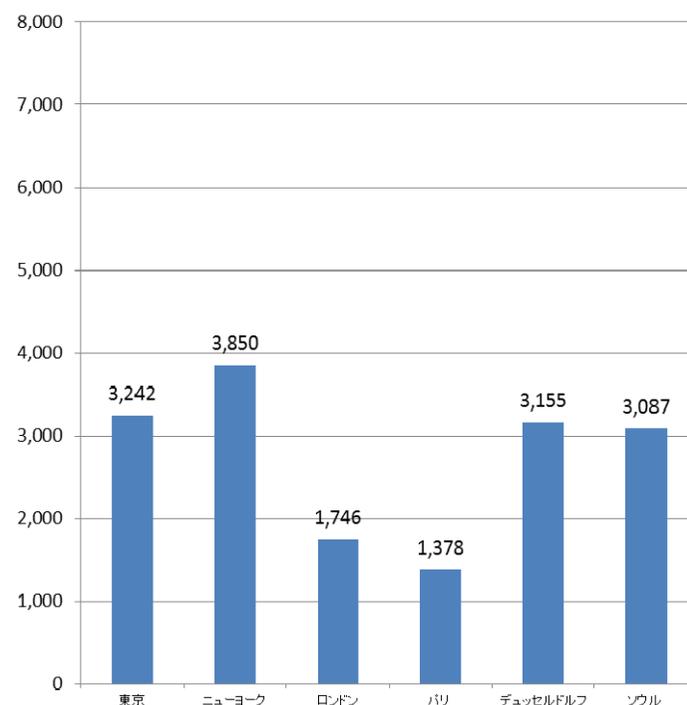
データ容量月2GB

(税込 単位：円)



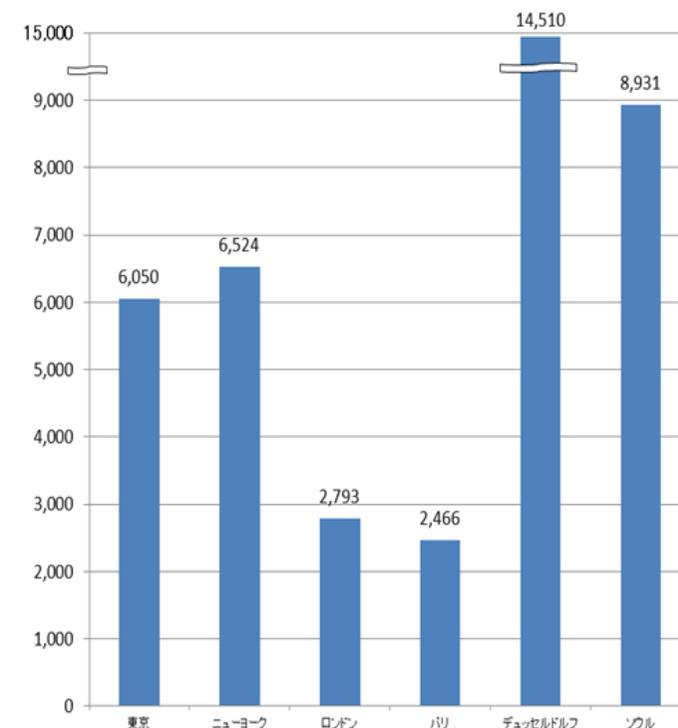
データ容量月5GB

(税込 単位：円)

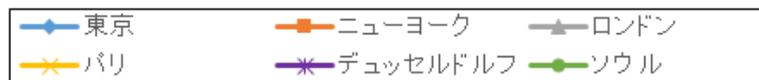


データ容量月20GB

(税込 単位：円)

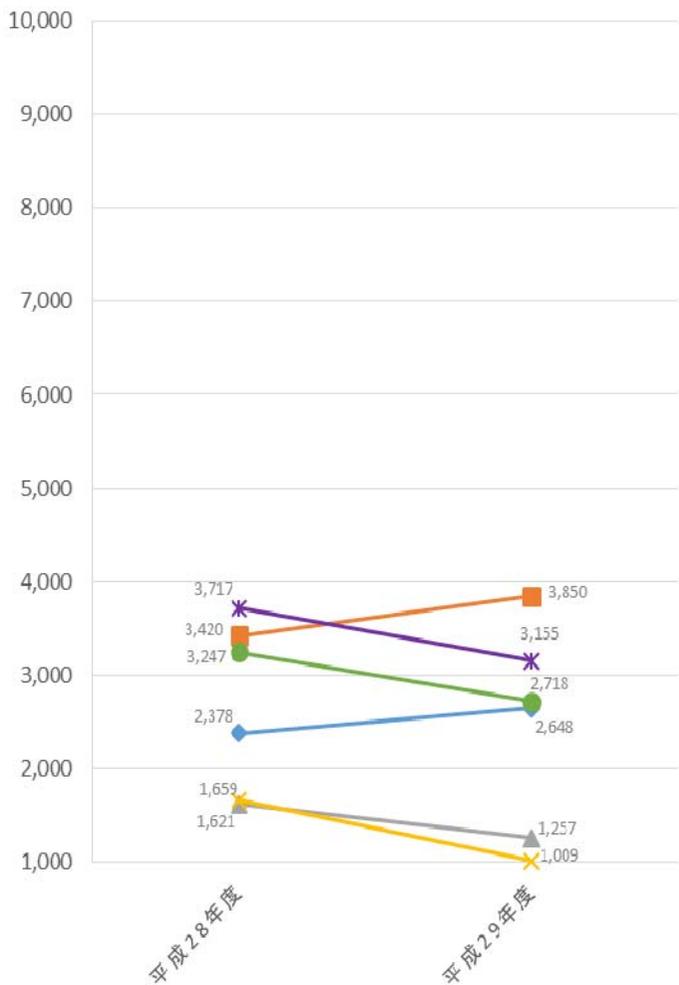


【参考4】スマートフォン（MVNO）＜推移＞



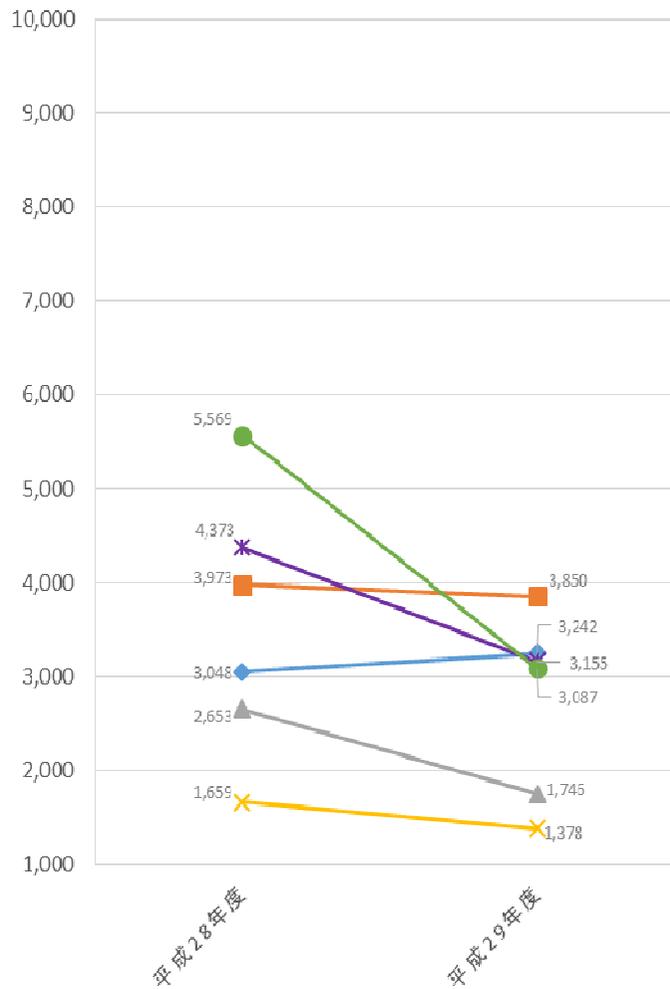
データ容量月2GB

(税込 単位：円)



データ容量月5GB

(税込 単位：円)



データ容量月20GB

(税込 単位：円)

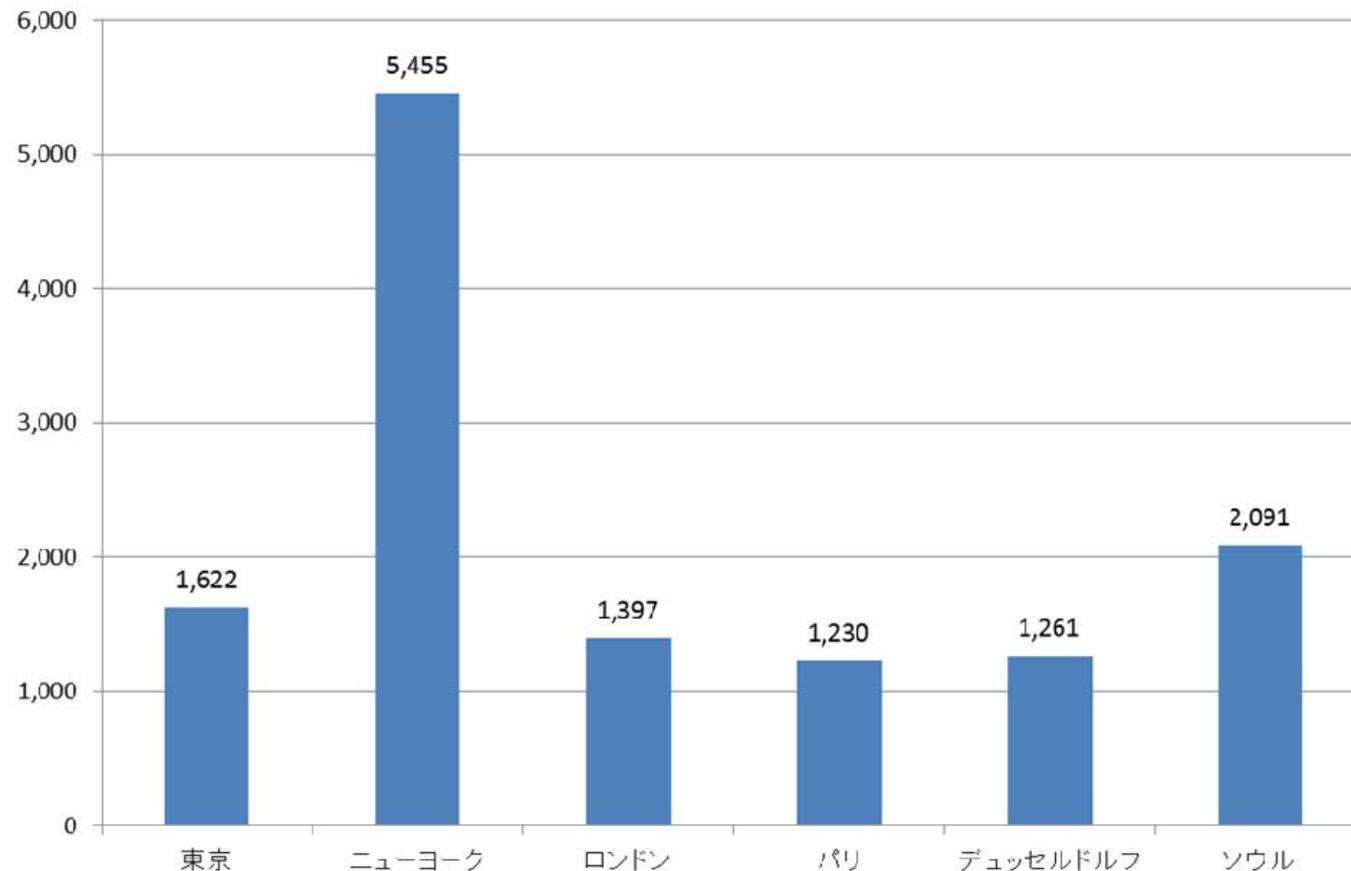


(注) 各年度において通貨換算に用いる購買力平価の値がそれぞれ異なる。

3. フィーチャーフォン

- 音声のみの利用を前提として、通話の平均発信分数（月70分）に基づき支払額を比較。
- 東京の支払額は、ニューヨークを除く各都市と並んで低廉な水準となっている。

(税込 単位：円)



(注1) ニューヨークは、通話無制限となっている。

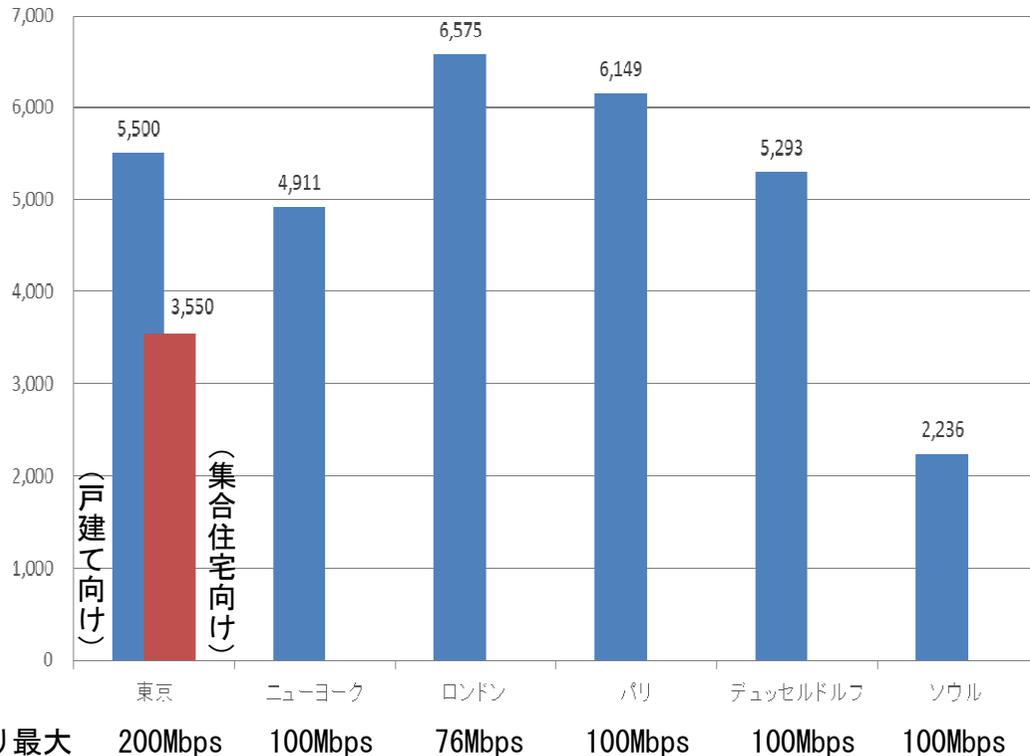
(注2) ロンドンは、フィーチャーフォン向けの料金プランはプリペイドのみであるため、プリペイドプランを採用。

4. FTTH

- FTTH回線を用いたインターネット接続サービスに係る料金について、回線使用料（※）、宅内設備レンタル料、ISP料の月額料金を合算して比較。
（※）住宅向け料金プランで下りの最大通信速度が100Mbpsのプランで比較（同料金でさらに高速で利用できるプランがあれば当該プランを使用。100Mbps以上のプランの設定がされていない場合は、100Mbpsに最も近いプランを使用）。
- 東京（集合住宅向け）の支払額は、ソウルに次いで低廉な水準となっている。
- 下り通信速度の1Mbpsあたりの料金を見ると、東京の集合住宅向けが最も低廉になっている。

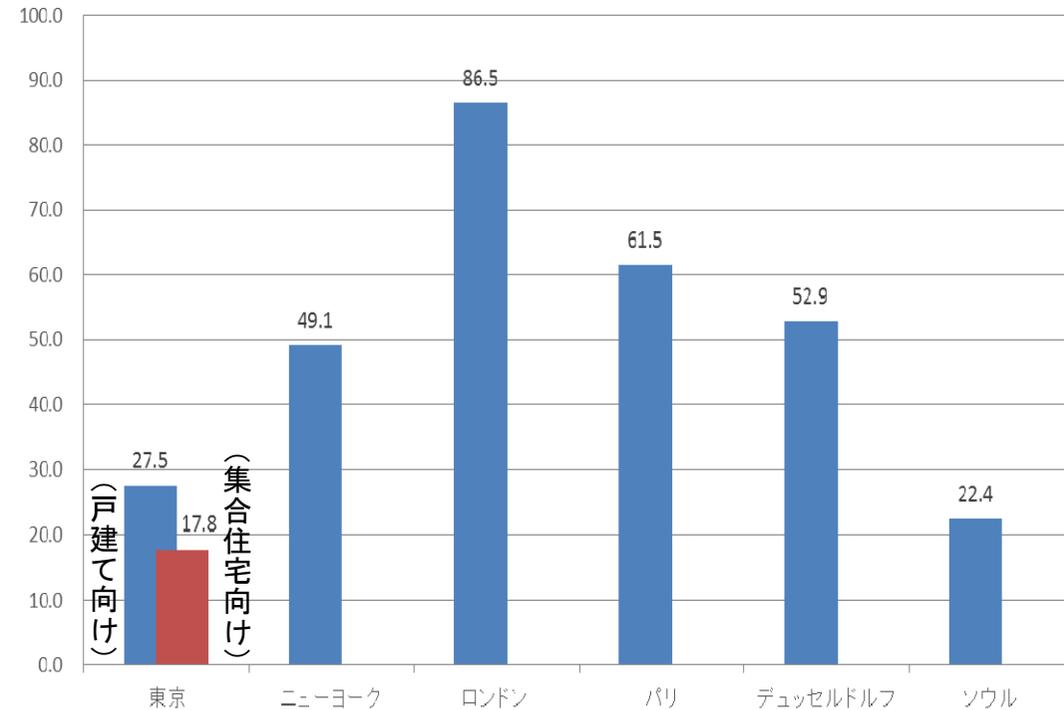
月額料金（FTTH回線使用料+宅内設備レンタル料+ISP料）

（税抜 単位：円）



1Mbpsあたりの料金

（税抜 単位：円）



下り最大通信速度

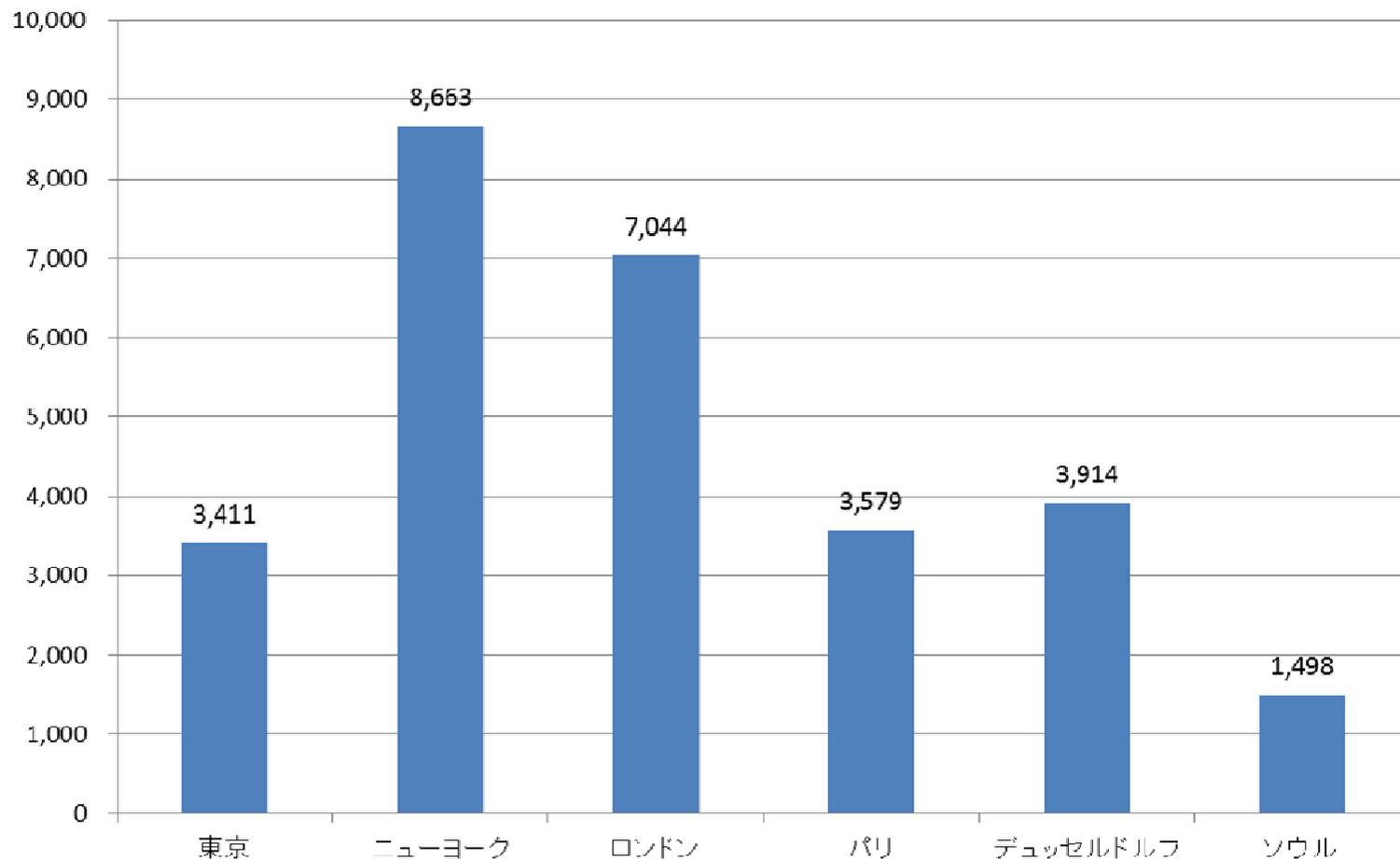
5. 固定電話

- 各都市でのユニバーサルサービスに相当するアナログ固定電話の利用モデル（※）に係る月々の支払額を比較。

（※）OECDが各国の住宅用の電話料金を比較するために用いているモデル（月平均で、市内：36回 計105分、市外：9回 計45分、携帯電話：15回 計30分の発信）で比較。

- 東京の支払額は、パリ、デュッセルドルフと同水準。

（税込 単位：円）



※ ニューヨークは、従来の電話線を利用する固定電話サービスの新規加入は受付けていないため、IP電話サービスの料金（インターネット利用料を含む）を記載。

調査対象事業者

		東京	ニューヨーク	ロンドン	パリ	デュッセルドルフ	ソウル
スマートフォン (MNO) <small>※下線は調査結果で採用した最も安いプランを提供する事業者</small>	①	NTTドコモ	<u>Verizon Wireless</u> (2GB、5GB)	Telefonica UK	<u>Orange</u> (2GB、5GB)	<u>Telefonica Deutschland Holding</u> (2GB、5GB、20GB)	SK Telecom
	②	<u>KDDI</u> (20GB)	AT&T Wireless	<u>BT Group(EE)</u> (2GB、5GB)	SFR	Vodafone Germany	KT
	③	<u>ソフトバンク</u> (2GB、5GB)	<u>T-Mobile US</u> (20GB)	<u>Vodafone UK</u> (20GB)	<u>Free mobile</u> (20GB)	Telekom Deutschland	<u>LG Uplus</u> (2GB、5GB、20GB)
スマートフォン (MVNO)		楽天	Virgin Mobile USA	Tesco Mobile	Euro-Information Telecom	Freenet	CJ Hello Vision
フィーチャーフォン		NTTドコモ	Verizon Wireless	Telefonica UK	Orange	Telefonica Deutschland Holding	SK Telecom
FTTH		NTT東日本	Verizon Communications	BT Group	Orange	Telekom Deutschland	KT
固定電話		NTT東日本	Verizon Communications	BT Group	Orange	Telekom Deutschland	KT

※平成28年12月時点のシェアを元に選定

比較に用いた購買力平価（単位：円）

	米国 (ドル)	英国 (ポンド)	フランス (ユーロ)	ドイツ (ユーロ)	韓国 (ウォン)
購買力平価※(平成29年)	98.2	139.7	123.1	126.3	0.112

※購買力平価(PPP:Purchasing Power Parity) : <OECD.stat, PPPs and exchange rates>

OECDが公表する平成29年(2017年)の数値を採用。貿易などの国際取引や投機の影響・変動を取り除き、経済実態に即した比較が可能。短期的なレートの変動を排し、長期的なレートの目安となり、より生活実感に近い値が求められるメリットがある。